

ぼうさい教室開催

8月6日に秋田大学主催で「ぼうさい教室in八峰町」を開催しました。秋田大学の教授らによる講義の後、八峰町の地震や津波に係る場所を巡りました。当日は、秋田市や八峰町から親子37名が参加し、「地震はなぜ起こるのか」「地震が起きたらどうするか」などについて一緒に考えました。



自作の紙芝居で読み聞かせをする
山本百合子氏。

秋田大学の水田敏彦教授による講義では、1704年の岩館地震や1983年の日本海中部地震など過去の地震を紹介し、「地震は繰り返し発生することから、過去の災害経験を学ぶことが大切」と解説しました。また、八峰町在住の山本百合子氏

は、日本海中部地震とその津波の被害を題材にした紙芝居を行いました。山本氏は自らの体験や被害に遭った人から聞いた体験談をもとに紙芝居を作成しました。紙芝居は当時の様子を克明に描いており、津波の恐ろしさや災害の教訓が伝わりました。午後からは過去に津波の被害を受けた場所や、地震によって隆起してできた海成段丘などを巡って観察しました。また、鎌滝孝信准教授は、最近のボーリング調査で分かった過去の自然現象の記録を現地で紹介しました。調査地は日本海中部地震の際に津波によって浸水しましたが、調査によると過去にも津波や洪水が発生した可能性があるそうです。参加者は、実際に現地を見ることで、過去の自然現象を想像できたのではないかと思います。

今回のぼうさい教室では、地震の仕組みと歴史を知ることでもし今後大きな地震が発生したときに「どうすれば地震をやり過ごし、自分の命を守るか」を考えるきっかけになったと思います。

「まるごと体験!秋田のジオパーク」開催

8月19日に能代市文化会館を会場に体験イベント「まるごと体験!あきたのジオパーク」を開催しました。これは、夏休み中の子供向けのイベントで、秋田県ジオパーク連絡協議会が主催したものです。今年は八峰白神ジオパークが事業を担当し、県北地域のジオパークの普及・啓発を目指して能代市で開催しました。当日は親子連れなど約370人が参加し、県内のジオパークや博物館が設置した体験ブースを訪れて楽しみました。



ゆざわジオパークの「ジオすごろく」を楽しむ来場者。

「ジオカフェ」のコーナーでは、秋田県内の湧水の飲み比べを来場者に楽しんでもらいました。

た。各地域の持ち寄った湧水は左のようになります。一度は飲んだことがあるでしょうか?

▽滝の頭湧水(男鹿半島・大潟)

▽切畑阿黒王名水(ゆざわ)

▽ボツメキ湧水(鳥海山・飛島)

▽お殿水(八峰白神)

各地域の湧水は硬度やpH値などが異なりますが、どの湧水も美味しく一度は実際に湧水ポイントに訪れてみたいと思いました。

八峰白神ジオパークの体験ブースでは「まっ黒くろすけをつくろう」を実施しました。また、その他にも「ストーンアートを作ろう」や「砂の中から化石を探そう」など楽しく学べる体験ブースが並び、会場は大いに賑わいました。

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-7713086